事業コード	R04-農-継-05			区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	農地地すべり対策事業			部局課室名	農林水産部 農地整備課
事業種別	地すべり対策			班 名	水利整備・防災班 (tel 018-860-1830)
路線名等	沢内			担当課長名	大山 泰
箇所名	由利本荘市			担当者名	田上 文啓
プランとの 関連	政策コード	07	政 策 名	基本政策1 防災減災・交通基盤	
	施策コード	01	施 策 名	強靱な県土の実現と防災力の強化	
	指標コード	04	施策目標(指標)名	県民の生命と財産を守る安全な地域づくり	

1. 事業の概要

事業期間	H6 ~ R5 (30年)	総事業費	12.1億円	国庫補助率	50%																																																								
事業規模	地すべり防止工事1式(集水井9基、水抜ボーリング10,500m、抑止工1式等)																																																												
事業の立案 に至る背景	当地区周辺は秋田県下でも有数の地すべり地帯である。軟質で含水量が多い地質(風化の進んだ凝灰岩の粘土化による)であることから、3~4月の融雪期や集中豪雨時に地すべりの発生頻度が高まっている。このため、地すべり防止区域の指定を受けて地すべりが顕著なブロックから順次、防止工事を実施している。平成24年~26年には、融雪期にかけて新たな地すべりが発生したため、完了工期を延伸している。また、対策工及び効果判定に係る費用が増となったためにH27年度に計画変更を実施している。																																																												
事業目的	地すべり被害を防止し、農地・農業用施設等を守る事を目的としている。 指定区域面積: 308.61ha 耕地53.42ha, 山林188.09ha, 牧草地52.41ha, 宅地2.45ha, 県道・農道・橋梁・ため池等12.24ha 被害想定面積: 452.30ha																																																												
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>前回評価</th> <th>今回評価</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">事業費内訳</td> <td>事業費</td> <td>1,018,000</td> <td>1,211,000</td> <td>193,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">経費</td> <td>工事費</td> <td>682,933</td> <td>770,523</td> <td>87,590</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>7,346</td> <td>6,292</td> <td>▲1,054</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業内容</td> <td>その他</td> <td>327,721</td> <td>434,185</td> <td>106,464</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td>国庫補助</td> <td>509,000</td> <td>605,500</td> <td>96,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>458,000</td> <td>544,950</td> <td>86,850</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>51,000</td> <td>60,550</td> <td>9,650</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>集水井・水抜ボーリング・排水路工等</td> <td>集水井・水抜ボーリング・排水路工等</td> <td>前回評価時H28</td> <td colspan="2">新たな滑動ブロックの調査・対策工事費を増とし、対策工を講じることで地すべり被害の防止に努めたい。</td> </tr> </tbody> </table>							前回評価	今回評価	増減	理由等	事業費内訳	事業費	1,018,000	1,211,000	193,000		経費	工事費	682,933	770,523	87,590		用補費	7,346	6,292	▲1,054		事業内容	その他	327,721	434,185	106,464		財源内訳	国庫補助	509,000	605,500	96,500		県債	458,000	544,950	86,850		その他	0				一般財源	51,000	60,550	9,650		事業内容	集水井・水抜ボーリング・排水路工等	集水井・水抜ボーリング・排水路工等	前回評価時H28	新たな滑動ブロックの調査・対策工事費を増とし、対策工を講じることで地すべり被害の防止に努めたい。	
		前回評価	今回評価	増減	理由等																																																								
事業費内訳	事業費	1,018,000	1,211,000	193,000																																																									
	経費	工事費	682,933	770,523	87,590																																																								
		用補費	7,346	6,292	▲1,054																																																								
事業内容	その他	327,721	434,185	106,464																																																									
	財源内訳	国庫補助	509,000	605,500	96,500																																																								
		県債	458,000	544,950	86,850																																																								
		その他	0																																																										
一般財源	51,000	60,550	9,650																																																										
事業内容	集水井・水抜ボーリング・排水路工等	集水井・水抜ボーリング・排水路工等	前回評価時H28	新たな滑動ブロックの調査・対策工事費を増とし、対策工を講じることで地すべり被害の防止に努めたい。																																																									
事業の進捗 状況	令和4年度迄に45ブロックの対策工(集水井9基・水抜ボーリング5,637m・排水路工、斜面改良工等)を実施。進捗率は事業費ベースで96.3%(1,166百万円)であるほか、対策工事は令和3年迄に実施済。現在は地すべり防止効果の検証を行い、安全性を確認した上で事業完了(概成)予定。																																																												
事業推進上の 課題	対策済施設の変位等に留意するほか、造成から10年以上経過しているため日常点検等による適切な維持管理が必要である。																																																												
関連する計 画等	○新秋田元気創造プラン ○秋田県地域防災計画 ○地震防災緊急事業五ヵ年計画(地すべり防止施設)																																																												
情勢の変化 及び長期継 続の理由	地すべりの発生に伴い、地すべり機構解析、地すべり対策工事の効果判定調査に一定の期間を要することから長期化したものである。																																																												
事業効果把 握の手法及 び効果	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td colspan="4">地すべり指定地域内における地すべりブロック整備率</td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="4">対策済みブロック数÷要対策ブロック数</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td>○ 成果指標</td> <td>● 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td>○ 有 ● 無</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td colspan="2">45ブロック</td> <td rowspan="2">データ等の出典</td> <td rowspan="2">沢内地区R3迄実績</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td colspan="2">45ブロック</td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td colspan="2">100%</td> <td>把握の時期</td> <td>令和4年 3月</td> </tr> </table>					指標名	地すべり指定地域内における地すべりブロック整備率				指標式	対策済みブロック数÷要対策ブロック数				指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	目標値 a	45ブロック		データ等の出典	沢内地区R3迄実績	実績値 b	45ブロック		達成率 b/a	100%		把握の時期	令和4年 3月																												
指標名	地すべり指定地域内における地すべりブロック整備率																																																												
指標式	対策済みブロック数÷要対策ブロック数																																																												
指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																									
目標値 a	45ブロック		データ等の出典	沢内地区R3迄実績																																																									
実績値 b	45ブロック																																																												
達成率 b/a	100%		把握の時期	令和4年 3月																																																									

前回評価結	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項
	特に無し
	②指摘事項への対応
	特に無し

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	○新秋田元気創造プラン」における基本政策の一つとして掲げている。 ○「地すべり等防止法」に基づき、地すべり防止区域内において事業を実施することにより農地・農業用施設・家屋・公共施設等への被害を未然に防止し、地域農業の維持や県土の保全、民生の安定を図る必要がある。	5 点
緊 急 性	○融雪期や豪雨の多発により、地すべり活動が活発化。地すべり発生により被害対象は農地に留まらず、人命や家屋、公共施設等に影響を及ぼす事から緊急な対策が必要である。	2.5 点
有 効 性	○地すべりは、地下水位及び地表水が影響し発生していることから地すべり箇所の地下水・地表水の排除は効果的な手段である。対策済み箇所の継続的な調査観測結果をみても長期に渡り安定していることから、農地や人命、家屋及び公共施設等への被害の未然防止に期待できる。	2.5 点
効 率 性	○事業の費用対効果は2.57であり、効率性は高い。 被害想定額（百万円）/事業費（百万円）=3,111/1,211=2.57 ○リサイクル資材を積極的に活用し、コスト削減に向けた取り組みを実施している	1.0 点
熟 度	○関係農家や関係団体と連絡調整を図りながら現地調査、対策工事を実施してきており地域の本事業に対する期待は大きく、区域の安全が早期に確保されるよう望まれている。	2.5 点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 事業判定ランク I となっており、早期の事業完了に向けて継続すべきと考える。	9.0 点
総合評価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止 各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、完了に向けて継続することが妥当である。農地や公共施設等への被害を未然に防止するため、必要な整備を継続していくとともに工事の実施にあたっては環境配慮対策と一層のコスト削減に努める。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

環境配慮及びコスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 地すべり対策事業

事業コード (農一継-05)
路線名等 (沢内地区)
箇所名 (由利本荘市)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業実施の影響	中止・休止による影響	地すべりの発生原因があり、与える影響が大きい	5	5	
			地すべりの発生原因はあるが、与える影響は小さい	3		
			地すべりの発生原因があるが、与える影響はない	0		
			計	5	5	
緊急性	災害発生の危険度	人命への影響	人命に影響を及ぼす	10	10	
			人命への影響が懸念される	5		
			人命への影響はない	0		
	農地・農業用施設への影響	被害がある	5	5		
		被害が懸念される	3			
		被害はほとんどない	0			
	地すべり兆候	地すべり兆候が明瞭であり、早急な対応を要する	10	10		
		地すべり兆候が明瞭であり、対応を要する	5			
		地すべり兆候は不明瞭だが、対応を要する	1			
	計		25	25		
有効性	整備効果の発現状況	地すべり防止効果の達成状況 (目標安全率の達成率)	100%以上	10	10	
			80%以上100%未満	5		
			80%未満	1		
	農地・農業用施設の保全	被害が防止・軽減されている	10	10		
		被害の防止・軽減が見込める	5			
		現状と変わらない	0			
	公共施設等の保全	被害が防止・軽減されている	10	5		
被害の防止・軽減が見込める		5				
現状と変わらない		0				
計		30	25			
効率性	事業の投資効果	費用便益比 (B/C)	1.20以上	5	5	
			1.00以上1.20未満	3		
	事業実施コストの縮減	コスト縮減対策 ①工法の比較検討 ②新技術の導入 ③資源の活用 ④共同工事 ⑤その他	2項目以上実施	5	5	
			1項目実施	3		
			対策を検討中	1		
計		10	10			
熟度	事業の推進	事業に関する住民意識	事業説明及び周知をしており、合意や理解が得られている	5	5	
			事業説明及び周知をしているが、理解が得られていない	0		
	前年度までの進捗	計画どおり進捗している	10	5		
		概ね計画どおり進捗している	5			
		計画より遅れている	0			
	今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる	5	5		
		将来的な課題はあるが当面進捗に影響はない	3			
		課題は解決の見込みがなく、事業の停滞が予想される	0			
	他官庁との協議調整	協議・調整済みであり、事業推進に影響はない	5	5		
		協議・調整中であるが、事業推進に影響はない	3			
協議・調整中であり、事業推進に影響している		0				
環境との調和への配慮状況	環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5		
		配慮について検討している	3			
		特に配慮はない	0			
計		30	25			
合 計				100	90	

2. 判 定

ランク	判定内容	配 点	判定	摘 要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		